

## CHAPTER 14

# Shell メニュー リファレンス

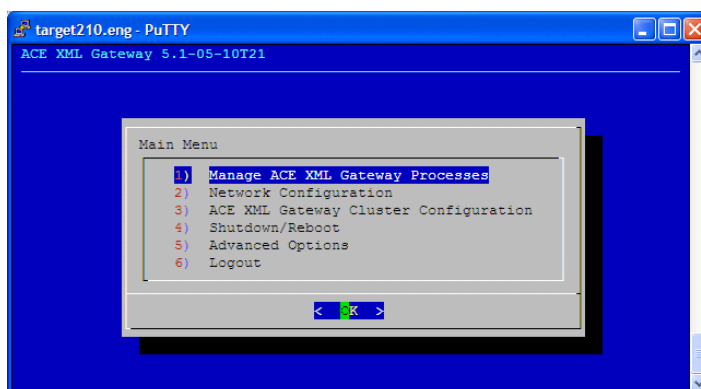
この章では、シェルインターフェイスのメニューの概要を説明します。内容は次のとおりです。

- [Main Menu](#)
- [Manage ACE XML Gateway Processes メニュー](#)
- [Network Configuration メニュー](#)
- [ACE XML Gateway Cluster Configuration メニュー](#)
- [Shutdown/Reboot メニュー](#)
- [Advanced Options メニュー](#)

## 14.1 Main Menu

コンソールメニューのメインページは、[図 14-1](#) のように表示されます。

図 14-1 Main Menu



**注：** シェル インターフェイスへのログインについては、[第 4 章](#) 「シェルインターフェイスのアクセス」を参照してください。

このメニューには次の項目があります。

- **Manage ACE XML Gateway Processes** では、アプライアンスの現在の動作状態（稼働中か停止か）が表示されます。また、これらのプロセスの停止または開始も実行できます。
- **Network Configuration** では、この ACE XML アプライアンスのネットワーク設定値が表示されます。
- **ACE XML Gateway Cluster Configuration** では、アプライアンスの動作モードを制御する設定値が表示されます（Manager、Gateway、独立型アプライアンスのいずれとして機能するのか）。
- **Shutdown/Reboot** では、このアプライアンスのシャットダウンまたはリブートを実行できます。システムのシャットダウンおよびリブートを実行する場合は、このオプションの使用を推奨します。shutdown -h シェル コマンドを使用した場合、システムへの給電は停止されません。
- **Advanced Options** では、SSL エンジンの設定、Netegrity サーバの設定、root パスワード、SNMP 設定など、ACE XML アプライアンスの管理設定が表示されます。アプライアンスの Bash シェルへもアクセスできます。
- **Logout** では、シェルインターフェイスからログアウトできます。

---

## 14.2 Manage ACE XML Gateway Processes メニュー

**Manage ACE XML Gateway Processes** メニューを使用すると、ACE XML Gateway および Manager の動作状態の表示と変更を実行できます。このメニューには次の項目があります。

- **Display Current Status** は、Gateway および Manager の動作状態を表示します。プロセスごとに、「running」または「stopped」の状態が表示されます。
- **Restart All Configured Services** は、現在イネーブルになっているプロセスをただちに開始します。
- **Stop ACE XML Gateway** は、ゲートウェイ上の主なトラフィック リスニング プロセスを停止します。このオプションを選択すると、このオプションは **Start Gateway** に変わります。

**注：** この項目は、ACE XML アプライアンスがまだ未設定の場合、アプライアンスが専用 Manager として設定されている場合、アプライアンスが非アクティブ アプライアンスに設定されている場合には、表示されません。つまり、このメニュー項目が表示されるためには、アプライアンスが Gateway として設定されている必要があります。

- **Stop ACE XML Manager** は Manager プロセスを停止します。このオプションを選択すると、このオプションは **Start ACE XML Manager** に変わります。

**注：** この項目は、ACE XML アプライアンスがまだ未設定の場合、アプライアンスが専用ゲートウェイとして設定されている場合、アプライアンスが非アクティブ アプライアンスとして設定されている場合には、表示されません。このメニュー項目が表示されるためには、アプライアンスが Manager として設定されている必要があります。

- **Return to Main Menu** は、**Main Menu** を表示します。

---

## 14.3 Network Configuration メニュー

このメニューを選択すると、ホスト名、IP アドレス、使用できる名前サーバ、イーサネットインターフェイスの設定など、ACE XML アプライアンスのネットワーク設定が表示されます。

Network Configuration メニューには次の項目があります。

- **Hostname** は、この ACE XML アプライアンスの Fully-Qualified Domain Name (FQDN; 完全修飾ドメイン名) です。
- **IP Gateway** はこのアプライアンスのサブネット内のデフォルト TCP/IP ゲートウェイの IP アドレスです。
- **Name Servers** は、この ACE XML アプライアンスの IP アドレスを解決する DNS (ドメインネームサーバ) です (IP アドレスで指定)。
- **Interface eth0** は、IP アドレス、ネットマスク、速度 (10BASE-T、100BASE-T、ギガビット、または自動) およびスタティックルートなど、ネットワーク インターフェイスのパラメータです。  
ご使用のアプライアンスには、ネットワーク インターフェイスが 1 ~ 4 個搭載されている可能性があります。他のインターフェイスの設定用のメニュー オプションにも同様のラベルが付けられています。たとえば、2 つめのインターフェイスのラベルは **Interface eth1**、3 つめのインターフェイスのラベルは **Interface eth2** のようになります。
- **View Routing Table** には IP ルーティング テーブルが表示されます (シェルの route コマンドを引数を指定せずに実行した場合と同様)。
- **Test Network Settings** では、このアプライアンスの現在のネットワーク設定をテストして、イーサネット インターフェイスがイネーブルかどうか、現在の IP 設定は適切かどうか、DNS サーバおよびその他の ACE XML アプライアンスに正常に ping を送信できるかなどを調べることができます。
- **Return to Main Menu** を選択すると、**Network Configuration** ページが終了し、**Main Menu** に戻ります。

---

## 14.4 ACE XML Gateway Cluster Configuration メニュー

このオプションでは、アプライアンスの動作モードを Manager、Gateway、両方（独立型）、または非アクティブに設定できます。

このメニューには次の項目があります。

- **ACE XML Gateway Cluster Member** を選択すると、このアプライアンスの動作モードが Gateway に設定されます（単一の Gateway またはクラスター内の Gateway）。このオプションを選択する場合は、ご使用のシステム、ACE XML Manager に、その他の ACE XML アプライアンスが 1 つ以上存在していなければなりません。このモードを設定するには、この Gateway アプライアンスを制御する ACE XML Manager の IP アドレスを設定する必要があります。
- **ACE XML Manager** を選択すると、このアプライアンスの動作モードが ACE XML Manager に設定されます。Manager アプライアンスは、クラスターのメンバーとして設定されているすべての Gateway アプライアンスを検査、設定、および制御します。
- **Both Gateway and Manager** を選択すると、アプライアンスは Manager と Gateway の両方として機能するように設定されます。この設定は、独立型モードと呼ばれています。
- **Inactive Machine** を選択すると、すべての非コンソール アクティビティがディセーブルになります。

---

## 14.5 Shutdown/Reboot メニュー

このメニュー項目を使用すると、アプライアンスの安全な停止やリブートを実行できます。また、**Main Menu** に戻ることもできます。

- アプライアンスをリブートするには、**Reboot** 項目を選択します。
- アプライアンスをシャットダウンするには、**Shutdown** 項目を選択します。

---

## 14.6 Advanced Options メニュー

**Advanced Options** メニューは、バージョン情報のほか、SSL のハードウェア アクセラレータ、SNMP 監視の設定、Netegrity 登録オプションなど、その他の設定オプションを提供します。このメニューには次の項目があります。

- **Time Settings** を選択すると、1 つ以上の Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) サーバの使用をイネーブルまたはディセーブルに設定できます。
- **SSL Engine Configuration** を選択すると、ハードウェアベースの SSL アクセラレータをイネーブルまたはディセーブルに設定できます。
- **Boot Settings** では、ブート メッセージのロギングのための宛先を設定できます。アプライアンスは、接続されているビデオ モニタ (デフォルト) またはシリアル ポートにブート メッセージを送信するように設定できます。
- **Netegrity Configuration** を選択すると、特定の Netegrity SiteMinder または TrafficMinder サーバの使用をアプライアンスに設定できます。  
詳細は、テクニカル ノート『*Using Netegrity Authentication Sources*』を参照してください。
- **Change root Password** では、この ACE XML アプライアンスの root パスワードを変更できます。ネットワークのセキュリティを守るためには、ご使用の各 ACE XML アプライアンスに安全な root パスワードを設定することが必要です。
- **SNMP Configuration** では、この ACE XML アプライアンスの SNMP 値を設定できます。  
詳細については、第 12 章「ACE XML アプライアンスのリモート監視」を参照してください。
- **Version Information** は、現在インストールされている Gateway ソフトウェア、稼働中のシステム カーネル、およびその他のシステム コンポーネントのバージョン番号を提供します。
- **MTA Configuration** では、ebXML メッセージをサポートする Message Transfer Agent (MTA) を設定できます。
- **Traffic Management** では、Gateway の監視用として、オプションの Actional Looking Glass 管理アダプタの使用をイネーブルにできます。
- **Run Bash** を選択すると、アプライアンス シェルを一時的に中断し、bash シェルを実行できます。
- **Return to Main Menu** を選択すると、**Advanced Options** ページが終了し、**Main Menu** に戻ります。